

萬福寺だより

馬込から気持ちのよい風が吹いてくる

発行／曹洞宗 萬福寺護持会

2012年春号／no.11／平成24年3月1日発行



花まつり（お釈迦様の誕生日：4月8日）



写経会（2月11日）

もうすぐお彼岸です!!

ご先祖様からいただいた今ある“幸せ”に感謝しながら
ご家族皆様でお墓参りしましょう。

REPORT

初の「写経会」

平成24年2月11日(土)

2月11日午後3時から、第1回「写経会」が行われました。最初に護持会研修委員長(兼副会長)波田野章氏が挨拶、続いて安本ご住職様が配布資料をもとに「平清盛」(NHK大河ドラマ放映中)が1167年(仁安2年)に厳島神社に奉納した『平家納経』(完全復元)を示しながら説明されました。その後、写経が始められ



古写経各種断片 (12種)



平家納経(上)と各種古写経



本堂にある掛け軸「大涅槃図」

涅槃会法要

平成24年2月15日(水)

2月15日はお釈迦様がインドのクシナガラ(現在のネパールのルンビニ)の地で、お釈迦様が涅槃に入られた日です。午前10時に本堂右側に掛けられた、お釈迦様が涅槃に入られたありさまを描いた大きな掛軸「大涅槃図」の前で、報恩の法要「涅槃会」が行われました。



大本山永平寺法堂での23回忌法要 (2月13日)



当山本堂での23回忌法要

23回忌法要

大本山永平寺

大本山永平寺から2月13日に本山で廿五世法幢開闢道玄太準大和尚23回忌法事を執り行う旨の通知を頂きましたが、当山でも行いますので出席できません。そこで供養料をお送りいたしましたところ、御供物と当日の写真(左・2枚)を賜りましたことをご報告させていただきます。(萬福寺)



廿五世太準大和尚



御導師・小坂機融老師

萬福寺 廿五世法幢開闢道玄太準大和尚様
2月13日、当山23回忌御正當法要

2月13日午前11時から本堂で、先代のご住職・萬福寺廿五世法幢開闢道玄太準大和尚様の23回忌御正當法要が行われました。

御導師は大本山永平寺東京別院監院・港区の泉岳寺ご住職 小坂機融老師が務められ、萬福寺ゆかりのお寺から総勢50名の僧侶が集い、そのうち17名は昭和40年以後の安居者(勤務者)であり、旧恩を語りつつ行事が進行しました。それに現役員40名と親族手伝い等19名が加わり小規模の予定も100名を超えてしまいました。計画当初よりなるべく縮小の予定でありましたが、檀家で懇意の方々をお呼びしたかったのですが、御案内せずに失礼いたしました。

故廿五世太準大和尚は明治32年鳥取県に生まれ育ち、近くの菩提寺へ遊びに行き手伝いながら弟子入りし、修行を積んで大正10年23歳で神奈川県大磯の東昌寺へ住職し、15年神奈川県大磯の太田院へ転住した。昭和13年神奈川県第三宗務所長に当選し、活躍した。17年東京萬福寺へ本山特命住職として就任し整理復興に勤めた。

19年晋山式、20年英霊供養、23年別格地昇格記念、31年本堂屋根替落成式、45年本堂庫裡改修記念、57・58年・59年表密葬、本葬、一周忌、三回忌の4度奉禪師の導師を受け、61年萬福寺八百年記念に丹羽禪師、合計永平寺禪師を10回拝請している。

平成22年2月13日心不全で遷化し寿92歳であった。本葬仏事師 丹羽禪師、宮崎実保副貫主、余語最乗寺山主によって3月30日に本葬儀が桜花の散る中で挙行された。



御導師・小坂老師(左)と
当山安本利正ご住職

今回23回忌法要後、東日本大震災で被災された元萬福寺安居の永井祐道老師(宮城県石巻市・松巖寺ご住職)、村上晃嗣老師(宮城県多賀城市・玉川寺ご住職)から義援金等に対する御礼の言葉がありました。また、ご供養に際し曹洞宗紹音会会の3名による雅楽の奉楽が演奏されました。

(住職 安本利正)

INFORMATION

仏事のご案内

3.11

東日本大震災一周忌追悼の鐘

14時46分に追悼の鐘が鳴ります

池上本門寺（大田区池上2-11-5）では3月11日（日）東日本大震災一周忌法要を行い、震災発生の同時刻14時46分に「追悼の鐘」を鳴らします。当山萬福寺、そして全国のお寺で鳴らします。梵鐘の音が聞こえたら、皆様手を合わせてお祈りしましょう！

3.20

春彼岸法要（心の法話）

午後1時から法話、2時から法要

「寒さ暑さも彼岸まで」と言われるように四季のはっきりしている日本では、彼岸は1つの区切りでもあります。春分の日、太陽が真東から上って真西に沈みます。西方の彼方にある阿弥陀如来の極楽浄土に思いをはせながら、ご先祖様からいただいた今ある幸せに感謝し、ご家族でお墓参りしましょう。

今年は3月17日（土）が彼岸入り、20日（火）お中日（春分の日）、23日（金）彼岸明け、です。

4.8

花まつり

午前11時から

4月8日はお釈迦様の生誕を祝う「花まつり」が行われます。屋根や四方を花で飾った花御堂をつくり、その中に釈尊の誕生仏を安置し、お釈迦様の頭に甘茶を注いで讃仏します。甘茶は釈尊誕生を喜んだ竜王が、甘露の雨を釈尊の頭に降らせたという伝説によるものだそうです。当日は甘茶のティーバックを差し上げますので、ご家族皆様でご賞味ください。

囲碁をやりませんか

先代のご住職が使われていた囲碁・盤があります。法事のときなどにご利用ください。

なお、囲碁会の開催もできますので、ご希望の方は萬福寺受付へご相談・お申し出ください。



REPORT

本尊阿弥陀如来

三尊仏の沐浴・御開帳

平成23年12月14日（水）

午

前11時から本尊阿弥陀如来三尊仏の沐浴（御身拭い供養）が執り行われました。当山の御本尊様は、日本で2番目に大きい由緒ある三尊仏で、鎌倉時代初期の立派な金銅仏です。中央に大きな阿弥陀如来立像、右に少し小さい観音

除夜の鐘つき

正月大般若会御祈禱調經

平成23年12月31日（土）
平成24年1月3日（火）

12

月31日午後11時から本堂に
おいて年末の法
要、そして、東日本大震
災等々の1日も早い復興
とご家族皆様の無病息
災、新年の開運を願って、
正月大般若会御祈禱調
經の法要が行われ、ご住
職様をはじめ僧侶の方々



菩薩立像、左に勢至菩薩立像があります。当日はこの三尊仏をゆつくり拝観できました。なお、御開帳は12月14日と正月3日間行われました。

により「大般若波羅密多經」（全600巻）の「転読」、經典をパラめくり読誦するお姿は莊嚴で身が清められる思いでした。

その後、恒例の「除夜の鐘つき」が行われましたが、当日は冷たい北風も吹かずお天気に恵まれました。約400名の参詣者は一人ずつ鐘楼門の階段を上がり、全員が鐘を叩くことができました。今年は震災・津波・原発事故、なでしこジャパンの活躍など悲喜交々ありました。新しい年の幸せを祈ってつく鐘にも心がこもり、梵鐘の音は力強く響きわたり清々しい気持ちで新年を迎えることができました。（合掌）

なお、正月大般若会御祈禱調經は正月三日にも行われました。

編集後記

春の季節となりました。「年年歳歳 花 相似たり 歳歳年年 人 同じからず」（年ごとに春はめぐり、花は同じように咲くのに、その年ごとにその花を見る人間は同じではない）と中国の古典詩にありますが、昨年の大震災以来、昔の人のうたうこの世の無常を切実に感じさせられるような気がいたします。

今年の春のお彼岸も、まためぐってまいりました。今年、萬福寺での行事も「写経会」など新しいものが増えました。つついあわただしく過ごしがちな毎日ですが、心落ち着かせるためのひとときを、菩提寺の萬福寺で体験されてはいかがでしょう。

また、日頃お感じのことなど何でも結構です。「萬福寺だより」へのご投稿や、お寺・護持会へのご意見をお待ちしております。

御葬儀・法要の連絡は 萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

梶原殿の会場使用料（通夜・葬儀、2日間）

・檀信徒 10万円～20万円 ・一般 20万円～30万円

※予算は密葬、本葬の人数で異なります。

御葬儀・法要のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025